



特集

おいしい! 楽しい!

# 「市内産」を もっと身近に

市内にある農産物の直売所を利用したことはありますか。駅から少し歩けば、意外と畑が多いのは武蔵野市の魅力の一つ。市内産ならではの農産物の魅力と楽しさを紹介します。



## 都市部の農地の魅力

住宅地と商業地が中心の武蔵野市ですが、市内に残る農地ではさまざまな作物がたくさん収穫されています。

都市部の農地は、規模が小さいからこそ目が行き届いた高品質な作物が多く、すぐ近くで採れたてを味わえるのが魅力です。

また、子どもたちが食や農業について学ぶ場や、災害時の避難場所としても役立てることができそうです。

その一方で、後継者や相続の問題など、農家にとって厳しい状況と課題があることも事実です。

市民の生活を豊かにしてくれる「市内産」を守るため、一人でも多くの方が地域の農業に関心を持つことが大切です。

市内産の農産物を選んでおいしく食べるのももちろん、楽しい体験や学びの場としても、もっと農地を活用してみましょつ。

## 市内産に ふれよう



### 収穫体験

市内には摘み取り販売・もぎ取り販売を行っている果樹園が複数あります。ブルーベリーは6～7月ごろ、ぶどうと梨は8月ごろに始まり、作物がなくなり次第終了します。自分で旬の果実を収穫する喜びを体験してみましょう。実施時期や料金などは各農家へ問い合わせてください。



こんなふうに実が  
なっているんだ！  
自分で採るからこそ初めて分かる  
ことがいっぱい。

市内の果樹園は、いずれも採った量に応じて購入する「量り売り」なので、少し体験してみたいという人も気軽に参加することができます。

### ● 摘み取り・もぎ取り体験ができる農園

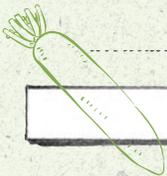
パールファーム武蔵野  
☎ (52) 1440 ブルーベリー

Kenchan Farm  
☎ (52) 0129 ブルーベリー

高橋ベリー園  
☎ (51) 4608 ブルーベリー

竹内果樹園  
☎ (31) 9570 梨、ぶどう

船木ぶどう園  
☎ (32) 2888 ぶどう

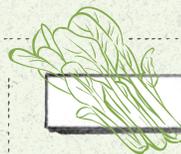


### 農産物品評会

「農産物品評会」では、地元農家が栽培技術を競った自慢の作物が展示されます。展示後の直売会は30分で売り切れるほど。また、地元産の農産物で造られた宝船の宝分けも人気です。



青空市、環境フェスタと同時開催。例年1万人超の人出でにぎわいます。今年は11月11日(日)開催です。



### 市民農園と体験農園

市民農園は、市民(1世帯)が1区画の畑を約2年間借り、野菜や草花を栽培できる制度です。市内に8カ所の農園があり、毎年2月1日発行の「市報むさしの」で利用者の募集を行います。

また、会員制の体験農園では、初めての方でも野菜の作り方を基礎から学ぶことができます。



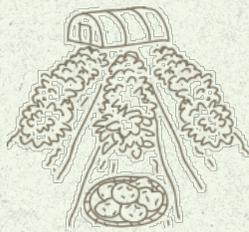
緑町市民農園



## 市内産を まなぼう

### 学校の給食に

武蔵野市の土地は水に恵まれず、稲作に向かないため、かつては小麦の栽培が盛んでした。そこで、市内の小学生を対象に小麦作りの体験学習を行っています。収穫した小麦は学校給食で「武蔵野地粉うどん」として味わいます。



一つの食材について詳しく知ると、自然に他の食材にも子どもたちの関心が高まります。



冬には畑が一面、雪景色に。冷たい雪の下でも、小麦はじっと耐えています。



11月の種まき。畑にかかとで足跡をつけ、これを目印に植えていきます。



2月の麦踏み体験。根の張りをよくし、小麦が寒さに耐える力を高めます。



4月になると、穂が出る前の青々とした小麦が元気よく育ちました。



9～11月には収穫した小麦を使って、地粉うどんの給食を食べました。



6月に収穫と脱穀を体験。自分たちが種をまいた小麦を手にとり、感動する子どもたち。

### 市内産農産物の流通

都市農業は、農家と消費者の距離の近いことが特徴。農産物の輸送距離と時間が短く、新鮮なまま食べることができます。また、消費者と生産者が直接対話できる機会も多く、顔の見える安全・安心な農産物として利用いただけます。



JA新鮮館



農家の直売所



朝市やイベント



学校給食など



アンテナショップ「麦わら帽子」

通常の農産物は、畑で収穫した後、食卓に並ぶまで数日を要します。でも、近場の直売所なら、採れたての味を楽しむことができます。

採れた日に食べられる。



一般の流通経路では畑から店頭まで並び購入するまで、数日かかる。

## 採れたて農産物が見える直売所マップ

市内で気軽に買える新鮮な農産物。  
市内産の味を一度試してみても  
いかがでしょうか。

市内産を  
食べよう



武蔵野市農業委員会のキャラクター  
みのりさん(左)と  
ゆたかさん(右)

## 市内産野菜直売店

### A JA新鮮館

西久保1-18-10 ☎(54) 7150  
年中無休(年末年始は休業)  
午前10時~午後5時

### B アンテナショップ麦わら帽子

吉祥寺本町2-33-1(中道通り)  
☎(29) 0331  
水曜日休業、午前10時30分~  
午後6時30分

※9月6日からリニューアルオープン



## 農産物カレンダー

旬な作物が変わっていくとともに、季節の移り変わりを  
感じられるのも市内産農産物の魅力です。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
トマト												
なす												
キャベツ												
はくさい												
ほうれんそう												
こまつな												
ブロッコリー												
うど												
だいこん												
なし												
ぶどう												



## 直売所の所在地と品目など

直売所はその日の収穫物を販売しているため、季節や時間帯で品目の変更、品切れなどがあります。

	直売所の名称	所在地	販売品目	営業時間
吉祥寺北町	1 北町3丁目	吉祥寺北町3-12	野菜	午前9時～
	2 ムーバス29	吉祥寺北町3-13	野菜	午前10時～
	3 吉祥寺北町直売所	吉祥寺北町3-14	野菜	午前9時～午後6時
	4 北町よい子の農園	吉祥寺北町3-14	いも掘りなど	要予約
	5 田中園芸	吉祥寺北町3-15	鉢植えの花	午前10時～ (夏期を除く)
	6 東北浦橋直売所	吉祥寺北町3-16	野菜	午前9時～
	7 やまふく	吉祥寺北町5-8	野菜	午前10時～正午、 午後1時～4時
	8 田中農園	吉祥寺北町5-9	野菜	午前9時～午後5時 (自動販売機設置)
	9 陽だまり	吉祥寺北町5-11	野菜	午前11時～
西久保	10 榎本正孝農園	西久保2-3	野菜	午前10時～午後5時
	11 西窪井口	西久保2-15	野菜	午後～
八幡町	12 榎正野菜直売所	西久保3-11	野菜	午前10時～
	13 田中農産物直売所	八幡町1-2	野菜	午前10時～ (5月下旬～8月上旬)
	14 さかもとさんちのやさい畑	八幡町1-2	野菜	午前10時30分～(春・夏期) 午前11時～(秋・冬期)
	15 庭先販売	八幡町1-5	野菜	午前10時～午後5時
関前	16 じかどり直売所	八幡町1-5	野菜	午前11時～午後5時 (自動販売機設置)
	17 ハーブルファーム武蔵野	関前2-1	ブルーベリー 摘み取り	午前9時～正午 (7月中旬～8月下旬)
	18 榎本直売所	関前2-25	野菜・果樹	午前10時～
	19 K'sファーム	関前2-29	野菜	午前10時～ (6月～8月)
	20 Kenchan Farm	関前3-12	ブルーベリー 摘み取り	7月中旬～9月上旬
	21 関前3丁目菜園	関前3-15	栗	午前10時～ (9月～10月上旬)

	直売所の名称	所在地	販売品目	営業時間	
関前	22 榎本園芸野菜部	関前3-41	花・野菜	午前9時～午後5時	
	23 旬のやさい	関前4-8	野菜	午前10時～	
	24 ワイエスファーム	関前4-8	野菜	午前10時～	
	25 桜井園(真)	関前5-15	野菜	午前9時～午後4時	
	26 うどばし農園	関前5-19	切花・野菜	午前9時～午後5時 (夏期は午後6時まで)	
	境	27 野菜塾さかい村直売所	境2-11	野菜	不定期(雨天休み)
28 高宏農園直売所		境4-10	野菜	午前10時30分～日没まで (5月連休明け～翌年2月上旬)	
29 畑のようさん、子育てママ園 武蔵境3番館ホーム		境4-11	無農薬野菜	-	
30 土屋		境5-2	野菜	午前9時30分～	
31 高橋ベリー園		境5-10	ブルーベリー 摘み取り	7月上旬～8月下旬	
32 後藤農園		境5-26	野菜	不定期	
境南町	33 舟木野菜園	境南町1-20	野菜	午前10時～午後5時	
	34 船木園	境南町1-25	ツバキ苗木・ さざんか苗木	午前9時30分～ 午後5時頃	
	35 舟木農園	境南町2-11	野菜	午前10時～ 午後5時頃	
	36 竹内果樹園	境南町2-19	ぶどう	午前9時～(8月中旬)	
			なし	午前9時～ (8月下旬～9月上旬)	
			柿	午後1時～ (10月中旬～11月中旬)	
	37 船木ぶどう園	境南町2-28	キウイ フルーツ	午後1時～ (11月上旬～12月中旬)	
ぶどう狩り			午前10時～午後5時 (8月10日～8月下旬)		
味のこだわり野菜直売所			境南町4-11	野菜	午前10時～正午
39 吉野農園直売所			境南町4-11	野菜・切花・柿・ キウイフルーツ	午前10時～



畑の井戸水は公共のものではありませんが、多くの農家の理解と協力を得て、災害時には地域のために使えるようになっています。

さらに畑は、雨水を蓄えて少しずつ排出する機能を持っています。このため急な大雨が来ても、ある程度まで吸収してくれ、道路冠水などを防ぐ治水効果も持っているのです。

農園は延焼しにくく、建物の倒壊による危険が少ないため、災害時には一時的な避難場所となります「防災協定農地」として使用できます。また、状況に応じて、農家の農産物や井戸水を提供していただけます。

農園の存在は、おいしい農産物や美しい景観で、暮らしに潤いを与えます。しかしそれだけでなく、実は防災・減災にも役立っていることをご存じでしょうか。

！  
実は防災効果も  
地域に畑がある恩恵



## 市内産を 応援しよう

先祖代々の畑を継ぎ、家族で農業を営んでいる後藤幸治さんと美由紀さんご夫妻。もうすぐ第一子が生まれる予定です。



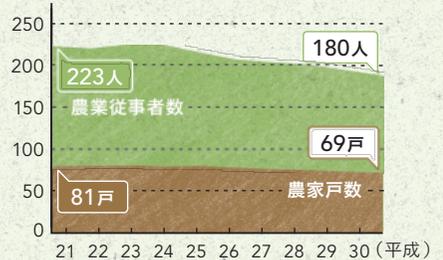
### 市内の農家さん

市内のあちこちで見かける農園では、どんな人たちが作物を作っているのでしょうか。境で農業を営む後藤さんを訪ねました。

#### 武蔵野の地に代々続く 農地を守って

亜細亜大学と隣接する農地に、広がる青空。この地に古くから残る後藤さんの農園です。「記録上で少なくとも9代目です」と話すのは、父と共に農業を営んでいる後藤幸治さん（29歳）。中学時代は家を継ぐつもりはなかったという後藤さんは、農業高校に進学したことをきっかけに農業の面白さに目覚め、大学や園芸専門学校で学んだ後、21歳から家の農業に本格的に加わりました。その後、美由紀さんと結婚し、現在は若い2人が中心となって営んでいます。

#### 市内の農家戸数および 農業従事者数の推移



近年の減少スピードは緩やかになり、ほぼ横ばいになっていますが、減り続けていることには変わりありません。

後藤さんの畑では、ハウス栽培と露地栽培によるトマトやキュウリなどを中心に、小松菜、ネギ、ダイコン、ニンジンなど多品目を扱い、学校給食や近隣のスーパー・レストランなどに卸しています。

**お客さんと直接話し、自分で考えて作れる喜び**

都市農業では、ビル風が作物を倒したり、街灯の光が作物の生活リズムを崩したり、さまざまな悩みがつきまといます。そんな都市農業の、農家にとっての魅力とは何でしょうか。

「お客さんとの近さです」と後藤さんは即答。自分が作った作物を食べた人の反応を

日々見ることができるのは大きな魅力だと語りました。

また「自分で考えて、作物を選べるのも喜びです」と続けました。地方で大量生産による農業を営む場合、何を生産するかは周辺農家の作物とのバランスも影響します。しかし都市農業では、近隣の住民の声に耳を傾けながら、自分で計画を立て、判断し、多品目の作物を育てることができず。これが後藤さんには大きなやりがいの一つです。

### 本当に新鮮な野菜の味を一度は試してみたい

一方で、都市農業全般では後継者不足や相続の問題が重くのしかかり、厳しい状況が続いています。

市でも重点政策などを設けて、健全な農業の持続を支援していますが、それでも市内の農地は近年、平均して年間約0.5ヘクタール(サッカー場くらいの広さ)が失われ続けています。

地域の生活にさまざまな潤

いをもたらしてくれる農業。これを守っていくには、一人でも多くの市民の方に市内産農産物への関心を持ってもらうことが重要です。

「地元の野菜を食べたことがない方は、ぜひ一度、食べてみてほしいです。新鮮な野菜や果物の味は本当に違います。私たち農家も、何でも自給自足とはいかないのでお店で野菜を買いますが、なるべく市内産を選びますよ。やはり味を知ってしまつと、鮮度の違いは絶対的なんです」と笑う後藤さん。

市内産農産物は、おいしくて、地域のためになる一石二鳥。ぜひ一度、近くの直売所に立ち寄ってみてはいかがでしょう。



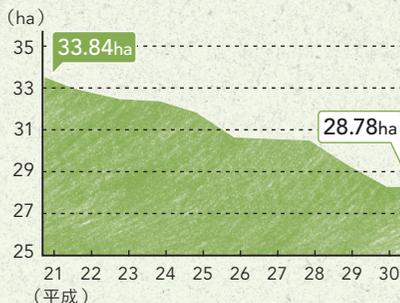
後藤幸治さん

とにかく一度食べてもらえば、地元の新鮮な野菜のおいしさがきっと分かってもらえると思います。



後藤 美由紀さん

誰かの体調が悪くなれば、誰かが代わりに畑に出してくれる。家族で助け合って働けるのは農業の魅力の一つです。



### 市内の農地面積の推移

都市部では地価が高いため、相続税の納税をきっかけに農地が減ってしまうケースが珍しくありません。一度、別の形で開発されると農地を復元するのは困難なため、農地面積の減少は都市部共通の課題です。

## 市内産農産物を食べて農地を守りましょう

防災や食育など、農地は多面的機能を持ち、都市に欠かすことができないものとして大きく見直されています。

その農地を守るために私たち一人ひとりにできることは、市内産農産物を積極的に食べることです。

市内産農産物の強みは鮮度です。反対に弱みはどこのお店にも並んでいるというわけではないのですが、直売所マップを参考に、近所を散策がてらにお求めいただきたいと思います。

また、おいしく召し上がっていただく提案として、市公式のクックパッドも開設しています。おいしく食べて農地を守っていきましょう。

クックパッド「武蔵野市の公式キッチン」



一人でも多くの方に市内農業の魅力と実態を知ってもらえるよう、努力していきたいと思っています。



市民部  
生活経済課  
佐々木要一さん

### 農業に関わる四つの重点政策

- 農地の保全
- 人と環境にやさしい農業の推進
- 市民とふれあう農業の推進
- 経営感覚に優れた農業者への支援

市内の農業の課題解決と活性化を図るため、武蔵野市農業振興基本計画を策定しました。「安全・安心 武蔵野農業」を農業者、市民、市がともに推進するための計画です。